

さんぽみち

鶺の木地区地域情報紙
平成19年10月1日号 第51号

発行：わがまち大田鶺の木地区推進委員会

編集：鶺の木地区 地域情報紙編集委員会

事務局：鶺の木特別出張所 電話(3750)4241 FAX(3750)2418



出張所だより

第四十五回 調布地区少年野球大会

八月二十日から二十四日まで熱戦を繰り広げました。

【中学校の部】

優勝・多摩川ファイターズ (田園調布地区)

準優勝・大森第七中学校 (鶺の木地区)

【小学校の部】

優勝・東一キングス (嶺町地区)

準優勝・調布大塚ファイターズ (田園調布地区)

夏の受賞者

おめでとうございます。

◆大田区交通安全功労者
団体 鶺の木三丁目町会

秋の行事

◆第十五回連合運動会

日時・十月二十一日(日)

午前九時半～午後三時

会場・大森第七中学校校庭

(雨天の場合は体育館で午前のみ)

鶺の木地区の連合運動会です。スポーツで汗を流し、地域の親睦を深めましょう。

共同募金

十月一日～三十一日まで行われます。皆さんの温かいご支援をお願いします。

防災訓練

日時・十一月四日(日)

場所・嶺町小学校校庭

鶺の木東町会

防災訓練と子供会

日時・十二月二日(日)

場所・東調布第三小学校校庭

鶺の木特別出張所 所長着任のあいさつ

七月一日より、鶺の木特別出張所長を務めることになりました吉田太典(ヨシダ・タイスケ)と申します。地域の皆様は初めてご挨拶をします。鶺の木地区に着任して、はやく三か月が過ぎ、少しは地区の様子が見えてきたところで、西に多摩川を臨み、東は緩やかな丘陵地の中に閑静な住宅地が配置され、南には千鳥の町並みを見ることができ、緑や水に恵まれた地域である

との印象を持ちました。まちの活気という点では、三つの「ふれあい元気塾」を通じて、ひとにやさしいまちであると痛感しています。まちの皆様が中心となり、職員が関わりながら作り上げてきたものと聞いています。この取り組みを大事に継続していくことが、今後の大きな勤めであると感じています。係長時代を通じて三か所目の出張所勤務となりましたが、鶺の木地区が、大田区内でもっとも印象に残るようになりたいと考えています。職員とともに、地域のために元気を出して、勤務に励んでいきたいと考えていますので、どうぞよろしく願います。

鶺の木特別出張所管内の人口	
男	10,647人
女	11,413人
計	22,060人
世帯数	11,405世帯

◇平成19年8月1日現在

十月一日よりサーマルリサイクルが始まりました

これに伴い十月からごみの分け方・出し方が変わりました。

可燃ごみ(週二回収)

10月からプラスチック(ビニール)類・皮革・ゴム類は可燃ごみになりました

プラスチック(ビニール)類



皮革・ゴム製品類



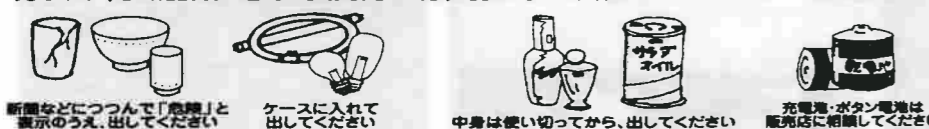
生ごみ(貝がら)、木くず、衣類、紙おむつ



※ペットボトル、食品トレイは「資源」として回収しています。

不燃ごみ(月二回収)

ガラス・陶磁器類、電球・蛍光灯 化粧品びんや油のついたかん 乾電池



小型の金属・家電類



アルミ箔



10月1日からの鶺の木地区の収集曜日

地域 種類	千鳥一丁目全域			
	鶺の木一丁目	鶺の木二・三丁目	二丁目1~26 28~35・37	南久が原一・二丁目
資源	木	木	木	火
可燃	火・金	火・金	火・金	水・土
不燃	第1・3土	第2・4土	第2・4土	第2・4木
町会集団回収	月	月	月	金

※新聞・雑誌・ダンボールは町会の集団回収にお出してください

編集後記

大田区では十月から「サーマルリサイクル(埋め立てるごみを減らし熱エネルギーを利用する)」のモデル地区を区内全域に拡大します。実施に向けて、町会・地域の皆様のご理解、ご協力をいただくために、すでに「お知らせ」、チラシなどを町会内回覧や全戸に配布する等PRに努めています。今回は「サーマルリサイクル」のポイントについて、調布清掃事務所・小田川所長にご寄稿をお願いしました。皆さん!本号を室内の見やすい場所に保管していただき、「資源」「可燃」「不燃」の区分が判らなかつた時など、是非活用してください。

編集長 永田 清





散歩してみませんか 都立蒲田高校周辺

大田区内の都立高校周辺巡り その三

JR蒲田駅 東急蒲田駅と直結している。西口は商店街、東口には公共施設が多く集まる大田区の中核。京急蒲田駅はJR蒲田駅より約十五分。駅前には新島特産の抗火岩で作られたモヤイ像がある。新島では力を合わせて一緒に作業をすることを「もやい合う」と呼ぶという。

① 都立蒲田高校
開校は一九七七年十二月。今年の四月より都内四校目の「エンカレッジスクール」として発足。
新生蒲田高は自ら集い鍛えて伸そう、この校風にあわせてやる気、頑張りを応援し勇気づけるといふ。地域と連携しスポーツ振興や、積極的にボランティア活動にも取り組んでいる。

② 大田区民ホールアプリコ
ガラス張りの空間、地域文化の創造・発信の拠点。一年を通じて音楽・演劇・映画・講演会が開催される多目的ホールがある。向かって左側にはアロマスクエアがあり、ここは大正九年より十六年間、かつてあった「松竹キネマ蒲田撮影所」を偲ぶ松竹橋が残されている。その当時は「流行は蒲田から」と全国に情報を発信。撮影所移転後開発し創られたアプリコ・アロマスクエアであるという。

③ 蒲田八幡神社(稗田神社)
僧行基により和銅二年(七〇九年)に創祀。十世紀に編纂された「延喜式神名帳」にもある古社。区指定の文化財の石造りの大鳥居・灯籠、その先に新築された美しい社殿。

◎ 都立蒲田高校所在地
大田区蒲田本町一丁目一三〇
JR蒲田駅徒歩七分
京急蒲田駅徒歩十三分

千鳥北町会 米本 延子
千鳥南町会 渡辺 光子
大森 律子

俳句

写経する背にうぐいすの
谷わたり

日向ばこバイリンガルの
猫といて

昔日の思い出つまる
かやつりそう

七人の孫それぞれに
夏の貌

花冷えや愛大
ベビーカーのなか

鶉の木二丁目町会
山崎 ヨシエ



サーマルリサイクル [Thermal Recycling]

今まで「不燃ごみ」として燃やさないで埋め立てていたプラスチック(ビニール)類や皮革・ゴム類を燃焼させ、発生する熱のエネルギーを発電などに利用することを、「サーマルリサイクル」と言います。「熱の再利用」と言います。

サーマルリサイクルの安全性

プラスチック等を燃やす時に出来るばいじん・いおう・窒素酸化物・ダイオキシン等の排出力は、測定検査によって安全なことが立証されています。

資源の回収でリサイクル社会に

ビン・缶・ペットボトル・食品トレー・紙パック等の「資源物」は、原材料として再利用するため、資源回収の日に集積所にお出してください。

大切な埋立地を延命化します

東京23区のごみは東京湾に埋め立てています。この貴重な埋立地はあと30年しかもたないといわれています。現在、埋め立てているごみの60%は、プラスチック等が占めています。このごみを燃やすことで体積を減らし、埋め立てる量を減らすことで10年は延命化できるといわれています。貴重な埋立処分場を少しでも長く使えるように、ごみの減量化にご協力ください。

東京都廃棄物埋立処分場

中央防波堤外側埋立処分場・新海浜処分場



○ 埋立処分場内部



夏休み親子見学ツアー



湿生緑地(ヒオトーフ)



覆土後の斜面

リレーエッセー

お元気ですか?
強大だった台風4号、再び起きた中越沖地震。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。どちらのニュースを見ても一人暮らしの方が多い地域となっており、おられる高齢の方のご苦労に心が痛みます。
鶉の木地区でも65歳以上の人口は20%を上まわり、その中でひとり暮らしの方も560名で大田区でも多い地域となっており、おられる高齢の方のご苦労に心が痛みます。
は、住みやすいというところではないでしょうか。
恵まれた自然環境のなか、子どもたちの元気な声も響きわたっています。この運動会がさらに啓発され、縁あって同じ地域、同じ町に住みあわせて私たちが、隣どうしでお互いに気配りし、助け合おうと決意を固めています。

鶉の木二丁目町会
岩間 勇治